



第198回触媒化学研究センター談話会

演 題： メソポーラス材料の調製法と
固体触媒としての応用

講演者： 野村淳子 先生
(東京工業大学資源化学研究所 助手)

日 時： 2006年1月18日(水)
10:30 - 12:00

会 場： 北海道大学理学部7号館
7 - 2 - 19号室

要 旨： ナノサイズの均一な大きさの細孔と薄い壁から形成されるメソポーラス材料は、大きな表面積と細孔容積を有する特徴的な材料である。講演では、様々なメソポーラス材料の調製を簡単に示し、遷移金属酸化物骨格からなるメソポーラス材料の光触媒としての応用例を紹介する。また、シリカと有機基がハイブリッドした材料を修飾して調製した固体酸触媒についても紹介する。

《連絡先》 北大触媒化学研究センター 機能性錯体分野

福岡 淳 (TEL: 011-706-9160)